

## 夏休みがやってくる! ああ、どうする?

いよいよ明日から夏休みです。勉強はもちろんやるべきですが、それ以外の普段できないことにもチャレンジできる期間です。なんとなく始まってなんとなく終わりが来たと思ったら宿題だけが残っていた・・・ということにならないよう、計画的に過ごしましょう。目標は、「これやって良かった!」「これができて良かった!」と思えることです。さらに、「これができるようになった」となれば最高です。まずは、夏休みにしかできないことをやってみましょう。何が考えられるでしょうか?

### 普段見られないものを見る。

遠くへ旅に出て現地の自然や文化的な施設を見るもよし、散歩でもして身近な自然を見て、美しい花や動物を発見するもよしです。美術館に行って芸術を鑑賞するのも良いでしょう。ゆったりした時間の中で、癒しの時間を過ごしてみましょう。人生観が変わる! ? かもしれません。

### 普段できないことをする。

作ったことのない物を作ってみる。やったことのないスポーツを試してみる。短歌を詠んでみる、などいろいろあります。自分で調べ、未知の領域に足を踏み入れましょう。新しい発見があるかもしれません。

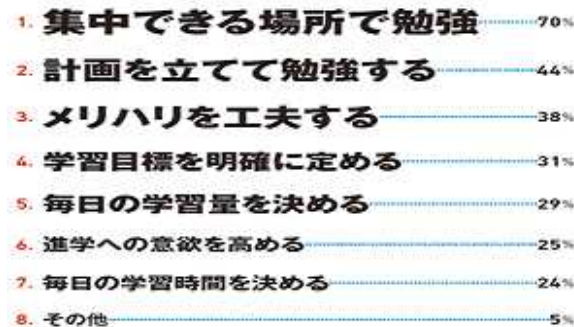
### 普段知ることのできないものを知る。

本を読む、図書館に行く、あまり会う事のできない親戚に話を聞く、など周りは知識の宝庫です。たくさんの知識を得て、ひとまわり成長した人間になりましょう。



夏休みに  
ダラけず  
勉強する秘訣  
(旺文社  
パスナビより)

夏休みにダラけず勉強する秘訣 (複数回答)



# 受験生はどうあるべきか。(Kei Netより)

### 規則正しい生活を送ろう!

「この夏が勝負!」と意気揚々と夏休みを迎えても、学校行事に追われたり、暑さやさまざまな誘惑などでダレてしまったりと、学習リズムだけでなく生活リズムまで崩れがち。

せっかくの夏休み、無駄のない有意義なものにするためにも、普段と変わらない生活で学習時間を確保し、自由時間とのメリハリをつけていきましょう。

### 学習計画の内容は具体的に!

「英語を頑張る」「数学問題集をやる」など抽象的なものではなく、「月 日までに1学期のテキスト第 講までやる」「月 日までに講習のテキスト第 講までの予習をする」「数学問題集の××分野の練習問題を2回繰り返す」など、それぞれの科目・分野で何をするのかを明確にして書き出すと効果的です。

### 毎日コンスタントに学習時間を確保!

「1日こもって勉強して、次の日はお休み!」など、極端にバラつきのある計画では効果がありません。気分転換はもちろん大切ですが、どんな時でも「これだけは絶対にやる!」という気持ちを持って、毎日一定の学習時間を必ず確保しましょう。たとえ単語30個覚えるだけでも、数学の問題1題解くだけでも全然違いますよ。

### 予備(調整)日を設けよう!

せっかくしっかり立てた計画でも、思っていたよりも時間がかかったり、体調を崩して勉強できなかったり...なかなか予定通りに進まないこともあります。そのようなときのために、5~7日間に1回程度、予備(調整)日を設けておきましょう。余裕を持って取り組むことができますよ。

### 前半は「不得意科目・分野克服」

### 後半は「演習で学力定着」

なんとなく時間的に余裕を感じる夏休み前半ですが、そんな気持ちに油断することなく、次の2点を押さえた計画を立てましょう。

(1)1学期(前期)の復習

(2)不得意科目・分野の克服

入試を意識しすぎて、難しいことばかりをあれもこれもと焦って取り組んでも効果はありません。コツとこなしでいけるよう、(1)と(2)を意識して勉強に取り組みましょう。

1学期の復習や不得意科目・分野の克服がしっかりできたら、次は演習を通して定着させましょう。目標とする大学の傾向を把握するために、過去問に目を通して見るのもいいでしょう。

受験生のみなさんは、何か特別なことをするわけではなく、しっかりと基礎固めをすることが大切です。受験とはいっても、授業で学んだことが基本です。自分の実力を分析して、確実にステップアップしましょう。高校3年生以外のみなさんも同じだと思います。



## 職場体験

中学3年生が去る6月29日・30日に職場体験を行いました。4月に行った保護者向けの進路アンケートから、職場体験希望アンケートを行いました。それをもとに保護者の皆様の職場を中心に9カ所に分かれて職場体験を実施しました。職種はスポーツ関係・公務員・医者(看護師)・建設業・ブライダル・建築士・新聞記者・大学教授・幼稚園教諭に関わるもので、それぞれの職場でたくさんのことを学べたようでした。

特に体験前と体験後にアンケートを行った効果測定では、「そう思う」と答えた生徒が、「親の苦労がわかる気がする」において23%上昇、「世の中の人助け合って生きている」において22%上昇、「大人はどんなに辛い仕事でも頑張っている」において17%上昇し、1日もしくは2日間だけではありましたが、実際に社会にでて仕事を体験することで、保護者のありがたみや、働くことの大変さややりがいを感じることができたようでした。



「医療は、日進月歩の世界。日々、勉強できることが一番のやりがいだし、看護師という職業以外考えられない」という言葉が大変印象的でした。



結婚場職場体験後の様子。サービス業ということで、疲れているのにも関わらず笑顔が素敵でした。



いつもよりたくましく、頼りがいがありました。真栄原カトリック幼稚園にて。

# オープンスクールにて～7/14実施

## 高1 卒業生座談会

夏休みの県内各大学のオープンキャンパスに向けて、進路意識を高めることを目的として、7名の卒業生を招き、在校時の取り組みや大学にて学んでいることなどをざっくばらんに話してもらいました。生徒の感想としては、楽しかった、細かい質問ができて良かったなど様々でしたが、担当者としては、在校生だけではなく、卒業生にとっても自分自身を振り返り自己肯定感の向上により今後の活動にも幅がでてくるのではないかと期待しています。また、オープンスクールに来校された方のアンケートにも、卒業生と話しをさせる機会があることは大変良いと記載されていました。今後も続けることにより進路を考える機会の一つになればと思います。



2012年度 琉球大学医学部医学科入学 宇座先輩の話聞く在校生が一番輝いていました。



立派になって帰ってきた卒業生に我々教員も感激です。それぞれの立場から、しっかりと後輩にアドバイスをしていました。



## 高2・3 進路講演会

キャリア教育授業と称して、高2・3向けの進路講演会を行いました。高橋FP事務所の高橋賢二郎氏をお招きし、「未来の自分と向き合おう」をテーマに講演して頂きました。生徒の感想としては「学校の授業では学べないことが学べた」「将来設計の役に立てたい」「うちに帰ったら親に話す」など、とても学びの多い講演会となりました。

